

情報システムに係る新元号対応状況に関するアンケート

○ 基本情報

法人番号		
法人名		
売上規模		
事業者規模(※)		
連絡先(2名まで)		
①	担当者氏名	
	所属部課名	
	役職	
	電話番号	
	メールアドレス	
②	担当者氏名	
	所属部課名	
	役職	
	電話番号	
	メールアドレス	

(※) 中小企業者、小規模事業者の定義(定義に該当しない場合は大規模を選択してください。)

http://www.chusho.meti.go.jp/faq/faq/faq01_teigi.htm#q1

情報システムに係る新元号対応状況に関するアンケート

○ ソリューション、製品、サービスを利用するユーザ組織向け

【はじめに】

- ・情報システムの新元号対応には、自組織の状況に応じた検討が必要となり、大小様々な作業が必要となる可能性があります。本アンケートは新元号に対応する際、共通の、基礎的に検討しておく必要がある作業についてお伺いするものです。
- ・アンケートの対象とする情報システムには、サーバでの処理を実行するプログラムやデータベースだけでなく、帳票、端末にインストールされているクライアントソフトやパッケージソフト、システム間連携に用いるデータを含みます。
- ・回答の必要がない設問についても、その照会内容については、今後考慮する必要が生じる可能性がありますので、ご確認ください。

1. 和暦の使用状況について	
1.1	自組織の情報システムにおいて、和暦が用いられている部分を調査・確認できていますか。
1.2	【1.1で①又は③を回答している場合、完了している調査・確認作業について】 調査に際しては、OSやオフィスソフト等の基本ソフトのアップデートによる影響等も考慮していますか。また、アップデートスケジュールを確認できていますか。
1.3	【1.1で①又は③を回答している場合、完了している調査・確認作業について】 調査に際しては、自組織内の情報システム間、又は自組織外の情報システム間のデータ連携等を考慮し、用いられるデータフォーマット(GSV, XLS, XML, JSON, PDF等)や連携処理に、元号の変更に影響される部分が含まれているか、確認できていますか。
1.4	【1.1で①又は③を回答している場合、完了している調査・確認作業について】 調査・確認の結果、改修等の対応は必要ですか。
2. 改修等の対応の内容について 【以降(2~4.)は、1.4で①を回答している場合全部、②を回答している場合は★が記載されている設問について確認、回答してください。】 ※なお、1.4で④を回答している場合も、今後の必要な対応について記載されているので、ご一読いただき、今後の作業のチェック項目としてご活用ください。	
2.1	各情報システムにおいて、必要となる改修等の対応の内容や改修等が必要となる範囲について、具体的に明らかにできていますか。次の3つの観点でお答えください。
	A 情報システムのプログラム、データベース、端末に関して必要な対応
	B 帳票や画面の修正等の対応
2.2	C 他組織の情報システムとの連携において必要な対応
2.2	特に他組織の情報システムとデータ連携している場合(例えば受発注システムでのEDI(電子的データ交換)システムを利用している場合など)においては、自組織のみで決定できない要因を含むため、対応の内容や作業計画等の立案・確定に際しては、他組織の情報システムとの連携の実施状況を踏まえた、十分な検討、確認、調整などが必要となる場合があります。これらの実施状況についてご教示ください。

2.3	【2.2で④を回答している場合】 他組織の情報システムとデータ連携している場合、例えば、一定期間新元号に加えて平成でも受理を認める、当面は平成のみで受理を行う等、データ連携における新元号の取扱いについて確認又は調整し、自組織の対応内容等を確定できていますか。	
2.4★	【1.4で②を回答している場合、回答の対象となる設問です】 改修等の対応が必要となる情報システムの数を記入してください。(半角英数)	
2.5	改修等の作業の内容は、使用している情報システムの構造や保守性によって大きく異なります。予め、元号の変更等の外的要因による改修作業の範囲や内容を最小化できるよう設計しているなど、元号の変更による改修等の対応の作業規模や難しさについて、どのような状況と考えていますか。	
2.6★	【1.4で②を回答している場合、回答の対象となる設問です】 改修等の対応の実施スケジュールについて、作業計画等を立案・確定できていますか。	
2.7★	【1.4で②を回答している場合、回答の対象となる設問です】 作業計画においては、5月1日までに(業務開始日等が5月1日以降となる場合は当該開始日等までに)すべての対応が完了し、同日から、新元号を使用して業務等を実施できるようになっていますか。	
2.8	相当程度の規模の改修を伴う場合、新元号の発表前において、仮の文字を使用した対応が必要となる場合があります。作業計画等の立案において、これを考慮できていますか。	

3. テスト、確認作業について

3.1★	【1.4で②を回答している場合、回答の対象となる設問です】又、【2.6で①又は②を回答している場合】 改修等の対応の作業の実施結果についてテスト等の作業の内容の確定、また、その作業の実施スケジュール等の作業計画等の立案・確定はできていますか。	
3.2★	【2.6で①又は②を回答している場合】 テストの作業計画等の立案・確定に際して、他組織の情報システムとのテスト等の作業の実施スケジュール等を十分に確認できていますか。	

4. 5月1日までに対応が完了しない場合について

4.1★	【1.4で②を回答している場合、回答の対象となる設問です】又、【2.7において、②又は③を回答している場合】 対応が間に合わない場合における、情報システムの連携先との調整や代替措置について、検討し、業務の遂行に際して問題がないことを確認できていますか。	
4.2★	【1.4で②を回答している場合、回答の対象となる設問です】又、【2.7において、②又は③を回答している場合】 5月1日以降、いつまでに、どのような作業を実施し、改修等の対応を完了することとなっているか、作業計画等の立案・確定ができていますか。	